

心つないで

No. 2 1

発行

2011年9月3日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉

(ろっこう医療生協・本部内 TEL 078-802-3424)

第9陣・久保主任と天野職員の報告 〈8/29～9/2〉

■ 帰路でちょうど台風12号接近と重なりましたがなんとか無事帰神できました。

「復興」には、
まだ遠く…

●8/31 総合運動公園、第一中学、久名畑、沢川(盛小学校)の各仮設を訪問。沢川仮設では、20軒訪問し4軒とお会いできました。そのうちの1軒。ご夫婦宅で血圧測定をし、元大工だったご主人からは今朝作ったばかりの棚を見せていただき、最後にお茶とお菓子までいただきました。
【写真・左】



●9/1 雨が強くなったり弱くなったりの天気。朝9時から仮設訪問。午後からは、碁石海岸と大船渡付近を視察しました。大船渡港付近では、壊滅状態でガレキの山のなか建物の修復が行われていました。大船渡線の線路があった場所です【写真・上】。ニュースでよく見た鯉のぼりです【写真・左】。視察したとき、ちょうど17時になり、このあたりで時間を知らせるビートルズの「yesterday」のイントロが悲しく流れていました。

■ 医学生も支援行動に参加しました

●想像していた以上に現地はひどく、ショックな映像ばかりが目のもとびこんできます。回りがガレキの中、いつものように下校する小学生にはこの映像が当たり前になっていました。今回の映像を目に焼き付けて、これから先も決して忘れてはいけないと感じました。

医学生インターンシップ企画で、神戸大医学部の学生さん3人が第8陣の支援に同行しました。【右写真/左から永江さん、近藤師長、西久保さん、吉田さん】一緒に仮設訪問や血圧測定など元気に行動しました。



8月からスタートした「つばさ募金」は、今約50万円に。目標は200万円です、ぜひさらなるご協力を！

職員の皆さんもぜひご協力ください

つばさ募金

ろっこう医療生協の大船渡での支援活動に
2 福島の子供達を神戸に招待します
3 放射線測定器を福島に送ります

二百万円
目標